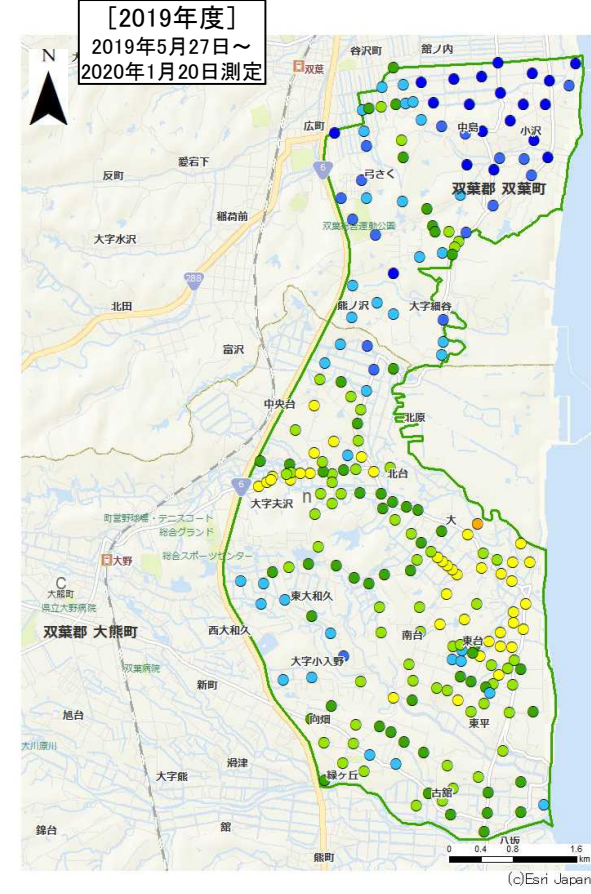
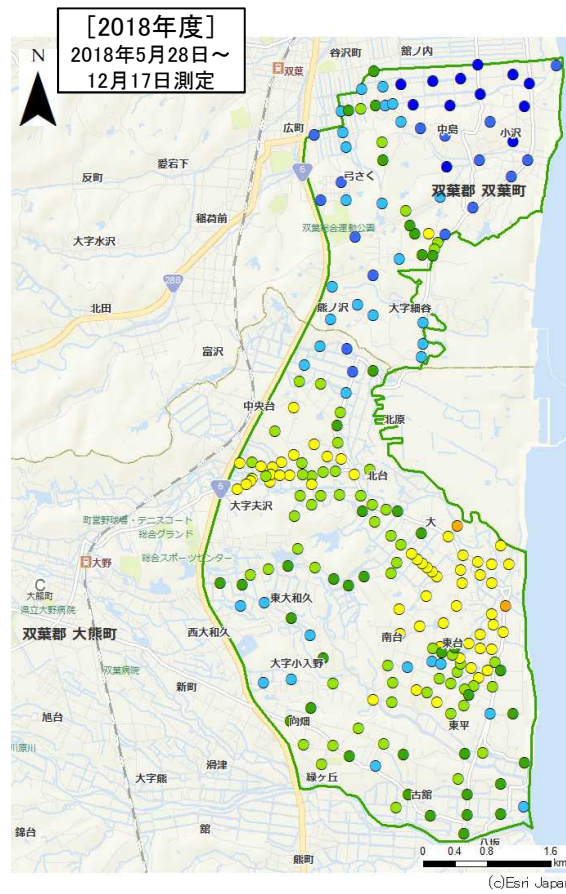
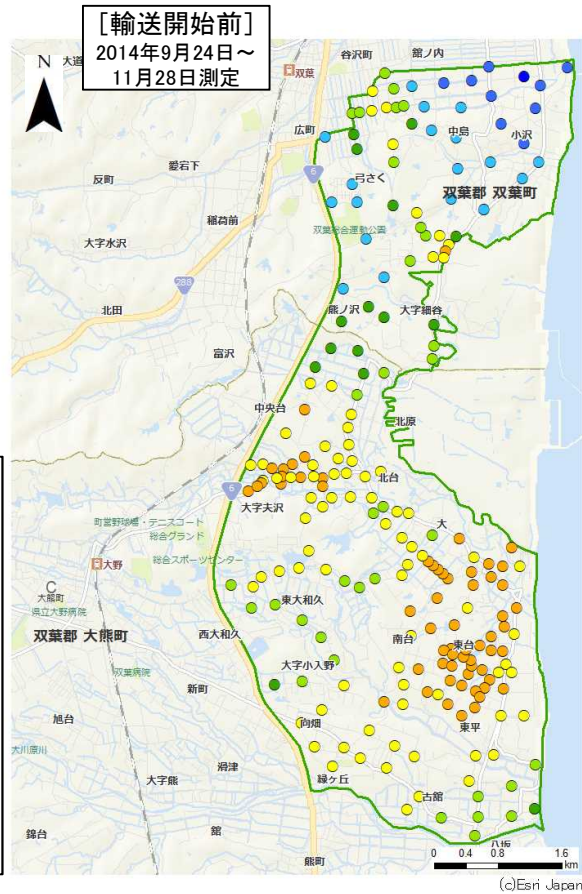


中間貯蔵施設区域内の空間線量率の測定

中間貯蔵施設区域内において、汚染状況の詳細調査を実施している。



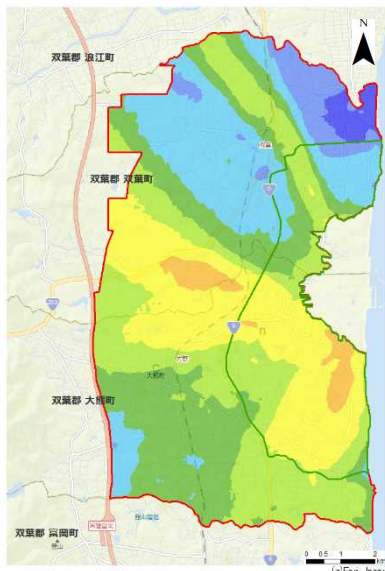
※測定条件:地上1m高さ

2019年度調査結果—放射性セシウムの自然減衰、周辺の線量低減措置及び施設整備の進捗により空間線量率は年々減少傾向が見られる。今後も引き続き調査を実施する。

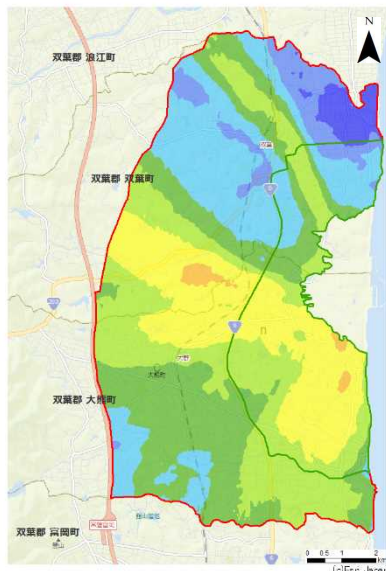
無人航空機による中間貯蔵施設区域周辺の空間線量率の測定

環境省では、2016年度まで中間貯蔵施設区域周辺において、無人航空機を飛行させ、空間線量率の測定を実施した。

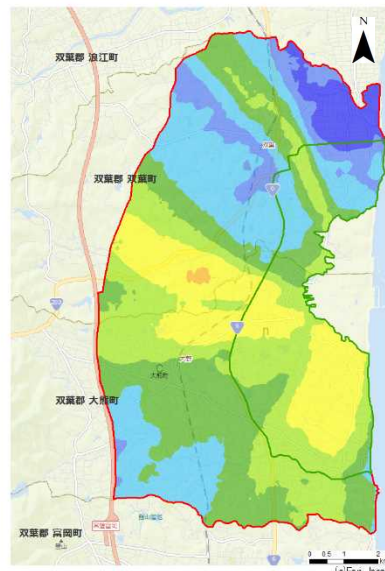
2017年度以降は原子力規制庁において実施した測定結果を参考掲載している。2019年度は測定できなかったデータが欠損している。



[輸送開始前]
2014年9～10月

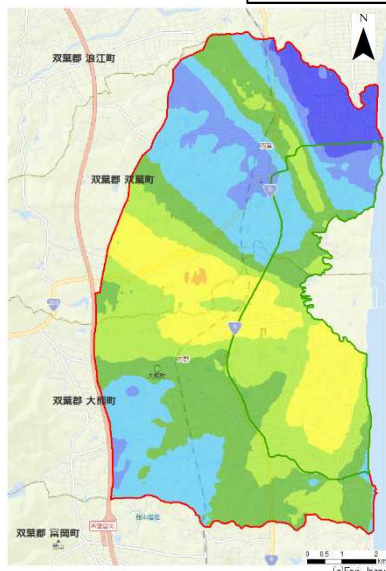
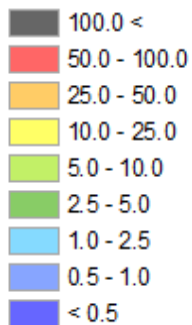


[輸送開始前]
2015年1～3月

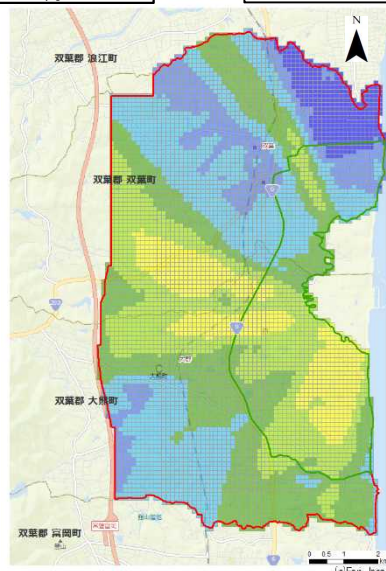


[2015年度]
2015年11～2016年2月測定

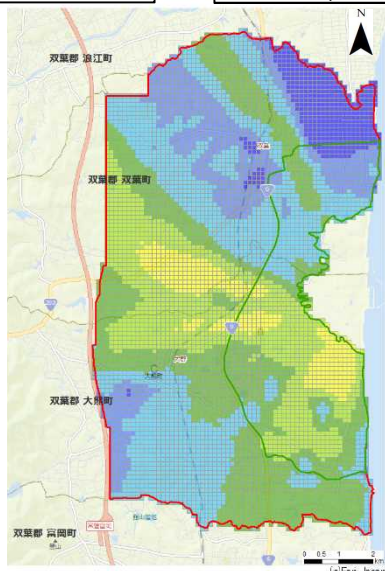
空間線量率
($\mu\text{Sv/h}$)



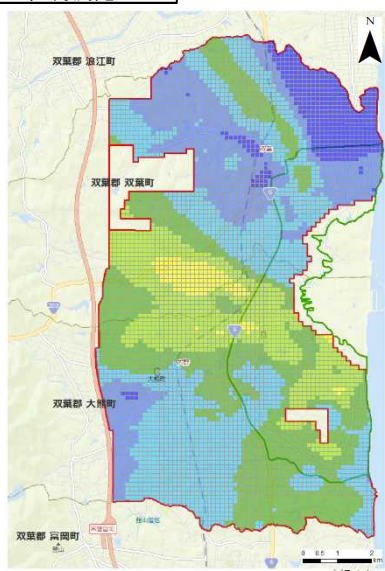
[2016年度]
2016年11～12月測定



[2017年度]
2017年6～9月測定
※原子力規制庁において実施



[2018年度]
2018年7～10月測定
※原子力規制庁において実施



[2019年度]
2019年6～12月測定
※原子力規制庁において実施

中間貯蔵施設区域
無人航空機測定範囲